

第1学年1組 算数科 学習指導案

実施期間 令和〇年〇～〇月
指導者 〇〇 〇〇

1 単元構想

「大きい かず」数と計算 A (1)

子どもの姿	順に並んだり、ものの個数や人数などを比べたり数えたりするなどの日常生活や学校生活の場面において、100までの数や100を少しこえる数を正しく数え、その表し方と意味を理解している。また、数の系列を理解し、大小判断ができるとともに、数に親しみながら学んだことを生活や学習に生かそうとしている。		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
単元の目標	① 100までの数や100を少しこえる数について、数え方、表し方、意味を理解することができる。 ② 数の大小や順序を考え、数の系列を作ったり、数直線の上に表したりすることができる。	① 数のまとまりに着目し、2位数や3位数への見方を働かせたり、数の比べ方や数え方を考えたりすることができる。	① 100までの数について、10のまとまりをつくって数えるよさを実感し、日常生活や学習の中で生かそうとする。 ② 身のまわりにある100までの数字に関心を持ち、意欲的に探したり、生活場面に生かそうとしたりする。
目標に近づけるための手立て	○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」 【めあて】 数を数えたい、答えを導き出したいと思えるような課題を設定したり、本時のねらいにかかわる児童のつぶやきを拾ったりすることで、めあての設定につなげる。 【振り返り】 視点を示しながら振り返りをする時間を設定することで、自分が学んだことについて言葉にし、自覚できるようにする。 【対話】 数の系列や大小の判断について、どのように考え、答えを導きだそうとしたのかを相手に分かりやすく説明できるようにするために、タブレット（授業支援アプリ等）を活用する。		
子どもの実態 35人	① 9割以上の児童が順番に数唱することができるが、数の系列の定着については個人差が大きい。 ② 11～20までの数の大小については、8割程度の児童が一の位を見て判断することができる。	① 2位数や3位数について読むことのできる児童は多いが、見方を働かせて数を比べたり数えたりしている児童は2割程度である。	① 8割以上の児童が学習したことと自分の日常生活がつながることに喜びを感じることができる。 ② きまり等を見つけることに意欲的に取り組む児童がいる一方で、難しさを感じて消極的な児童もいる。

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 十進法を理解し、100までの数や100を少しこえる数の表し方や意味がわかる。 ② 100までの数や100を少しこえる数について、表や数直線上に規則にしたがって数字で書いたりするとともに、数の代表比較ができる。	① 100までの数を「10がいくつと1がいくつ」、100を少しこえる数を「100といくつ」という見方で捉えることができる。	① 100までの数を10ずつまとめて数えるよさに気づいている。 ② 身のまわりから100までの数字や数表のきまりを進んで見つけ、生活場面に生かそうとしている。

指導と評価の計画（13時間取り扱い ●本時5/13）

課題等	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
「大きいかず名人」になろう。	1	3	○100までの数を数えたり、書いたりする。	【知】①【思】①【主】① 教科書の書きこみ、観察、ノート
		5	●100までの数の構成や系列、大小について理解する。	【知】②【思】① 教科書の書きこみ、授業支援アプリ
		2	○身のまわりから100までの数字を探したり、お金を用いた活動で数の感覚を豊かにしたりする。	【思】①【主】② ノート、観察
	2	2	○100を超える数の構成や順序について理解する。	【知】①、②【思】① 授業支援アプリ
	3	1	○学習内容の理解を確認するとともに、本単元の学びを振り返る。	【知】② ノート

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

隠れた数を考えることを通して、数表の上下左右の並び方やつながりに気付き、数構成の数の系列を理解することができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT 機器等
導入	5	1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを共有する。	○昨日学習した表が、1か所隠されてしまいました。 ・何の数字だったかな。	○表の一部を隠すことに関心を高める。	・一部が隠れた数表
			かくれている かずは なにかな。		
展開	15	2 隠れた数が何かを考える。 (1) ペアで考えを出し合い、相談する。 (2) 全体で共有する。	○どうしてその数だと思ったのかな。 ・左が○○だから…。 ・1ずつ増えるから…。	○板書でキーワードになることば（一の位、十の位等）を残しておく。	・授業支援アプリ
	10	3 複数のますが隠れている表について考える。 (1) 自分で考える。 (2) ペアで考えを伝え合う。 (3) 全体で共有する。	○もう少したくさん隠れていても、わかるかな。 ○どうしてその数だと思ったのか、表（授業支援アプリ）に書き込んでみましょう。 ・ここから○つ増えると…。 ・ここは十の位の数が全部2になっているから…。	○書き込みができない児童には、板書を参考にしながら書き込めそうな場所を助言する。 ◎【知】② 100までの数表の規則性をもとに、隠れた数を求めている。	
	10	4 自分で問題作りに取り組む。	○友達に出す問題を作ってみましょう。 ・どこを隠そうかな。		
終末	5	5 本時の学習を振り返る。	○今日学んだことを友達に伝えましょう。	○振り返りの視点を示す。	・電子黒板

算数

第1学年1組 算数科 学習指導案

小学・算数

実施期間 令和〇年〇〜〇月
指導者 〇〇〇〇

1 単元構想

「大きい かず」数と計算A(1)

順に並んだり、ものの個数や人数などを比べたり数えたりするなどの日常生活や学校生活の場面において、100までの数や100を少しこえる数を正しく数え、その表し方と意味を理解している。また、数の系列を理解し、大小判断ができるとともに、数に親しみながら学んだことを生活や学習に生かそうとしている。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
① 100までの数や100を少しこえる数を正しく数え、その表し方と意味を理解している。	① 数のまとまりに着目し、2位数や3位数への見方を理解している。	① 100までの数について、10のまとまりをつかんでいる。

ポイント

単元終了後の子どもの姿

単元後、これからの算数の学習や他教科、実生活、将来に、本学習をどのように生かそうとする子どもを育成したいかを書く。

【振り返り】
視点を示しながら振り返りをする時間を設定することで、自分が学んだことについて言葉にし、自覚できるようにする。
【対話】
数の系列や大小の判断について、どのように考え、答えを導きだそうとしたのかを相手に分かりやすく説明できるようにするために、タブレット（授業支援アプリ等）を活用する。

子どもの実態	①	②	③
35人	① 9割以上の児童が順番に数唱することができるが、数の系列の定着については個人差が大きい。 ② 11〜20までの数の大小については、8割程度の児童が一の位を見て判断することができる。	① 2位数や3位数について読むことのできる児童は多いが、見方を働かせて数を比べたり数えたりしている児童は2割程度である。	① 8割以上の児童が学習したことと自分の日常生活がつながることに喜びを感じることができる。 ② きまり等を見つけることに意欲的に取り組む児童がいる一方で、難しさを覚える児童もいる。

ポイント

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力、人間性等
① 十進法を理解し、100までの数や100を少しこえる数の表し方や意味がわかる。 ② 100までの数や100を少しこえる数について、表や数直線上に規則にしたがって数字で書いたりするとともに、数の代表比較ができる。	① 100までの数を「10がいくつと1がいくつ」、100を少しこえる数を「100といくつ」という見方で捉えることができる。	① 100までの数について、10のまとまりをつかんでいる。

単元の評価規準

・単元の目標を、子どもと共有できる表現に書きかえる。(『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料)を参照)

指導と評価の計画(13時間取り扱い ●本時5/13)				
課題等	次	時	主たる学習活動	評価の内容と方法等
「大きい かず名人」になろう。	1	3	○100までの数を数えたり、書いたりする。	【知】①【思】①【主】① 教科書の書きこみ、観察、ノート
	5	5	●100までの数の構成や系列、大小について理解する。	【知】②【思】① 教科書の書きこみ、授業支援アプリ
	2	2	○身のまわりから100までの数字を探したり、お金を用いた活動で数の感覚を豊かにしたりする。	【思】①【主】② ノート、観察
	2	2	○100を超える数の構成や順序について理解する。	【知】②【思】① 授業支援アプリ
	3	1	○学習内容の理解を確認するとともに、本単元の学びを振り返る。	【知】① ノート

2 本時の授業計画
1) 本時の目標
隠れた数を考えるを通して、数表の上下左右の並び方や数の系列を理解することができる。
2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な関心・指示 ・予想される子どもの反応	評価	備考 ・ICT機器等
導入	5	前時の学習を振り返り、数表の並び方を共有する。	○昨日学習した数表が、1か所隠されていました。 ・何の数字が隠れているか。	数表の並び方を高	・一部が隠れた数表
展開	15	2 隠れた数を考える。 (1) ペアで考える。 (2) 全体で考える。	○もう少したくさん隠れていても、わかるかな。 ○どうしてその数だと思ったのか、表(授業支援アプリ)に書き込んでみましょう。 ・ここから○つ増えると…。 ・ここは十の位の数が全部2になっているから…。 ○友達に出す問題を作ってみましょう。 ・どこを隠そうかな。	板書、数表、授業支援アプリ	・授業支援アプリ
	10	3 複数の数表が隠れている表について考える。 (1) 自分で考える。 (2) ペアで考えを伝え合う。	○もう少したくさん隠れていても、わかるかな。 ○どうしてその数だと思ったのか、表(授業支援アプリ)に書き込んでみましょう。 ・ここから○つ増えると…。 ・ここは十の位の数が全部2になっているから…。 ○友達に出す問題を作ってみましょう。 ・どこを隠そうかな。 ○今日学んだことを友達に伝えましょう。	板書、数表、授業支援アプリ	・授業支援アプリ

ポイント

本時の評価

本時の目標と評価の観点の整合性を確認する。

◎【知】②
100までの数表の規則性をもとに、隠れた数を求めている。